



2025年5月20日発行

拝啓

桜が青々とした葉をまとい、新緑を呼ぶ風が身体中を駆け巡る季節になりました。新しい生活には少しずつ慣れてきましたか？

図書館には新生活の知恵がたくさん詰まっています。ぜひ図書館に足を運んで新たな出会いを探してみませんか？

かしこ

-- 今月号のラインナップ --

Calendar

2025年6月～7月カレンダー

LiLian Special Info.

癒される本

今月の一冊

『女生徒』

LiLian Interview

三宅英典先生（人間科学部 現代子ども教育学科）



2025年6月・7月 カレンダー

6月

◎ 8:45~19:30 ○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○	6 ○	7 ○
8 休館	9 ○	10 ○	11 ○	12 ○	13 ○	14 ○
15 休館	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○	20 ○	21 ○
22 休館	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 ○	28 ○
29 休館	30 ○					

7月

◎ 8:45~19:30 ○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
		1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
6 休館	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○	11 ○	12 ○
13 休館	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○
20 休館	21 ○	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○
27 休館	28 ○	29 ○	30 ○	31 ○		

最新情報はHPを
ご確認ください →



LiLian Special Info.

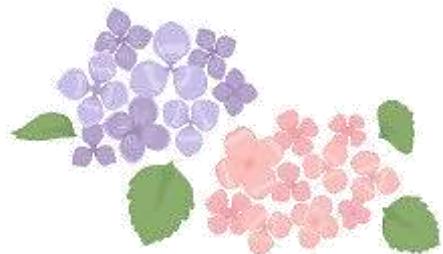
～癒される本～

皆さん、いつもお疲れ様です！新学期が始まってから怒濤のひと月が過ぎ、お疲れな方もいらっしゃるのではないかでしょうか？そんな時におすすめな、心が温まる本を紹介します！

きみのいいところをボクは知ってる タケダヒロキ／著・イラスト

閲覧室 2F (読書コーナー) 請求記号: 726.6/Ta593

多彩なお花を身に纏った動物たちが、
あなたに寄り添う言葉を伝えてくれます。
動物を飼っている人や生き物たちに癒しを
もらいたい人にピッタリです！



最後は笑ってさよならをしよう 神田澪／著

閲覧室 1F (展示) 請求記号: 913.6/Ka515

140字の短い小説を集めた本です。気軽に読めるのに何だか泣けてきて…涙を流すことは、ストレス解消に繋がるそうです。
たまには、大泣きしても大丈夫！！

なごみ猫 -BEST SELECTION- <金城学院大学電子図書館>

可愛いにゃんこ達の写真集です。猫ちゃんたちの姿は
見ているだけで癒されます！お手元のスマホから
簡単に貸出・閲覧可能ですので、
ぜひアクセスしてみてくださいね！

(みさ)



アクセスはこちら

* * * 今月の一冊 * * *

『女生徒』 太宰治／著

913.6
D49
19a



閲覧室2F(読書コーナー)

あなたは14歳のとき、どんな風に過ごしていましたか？朝起きて、本を読みながら電車に乗って、学校で授業をぼーっと受けて、放課後は友達と寄り道をして、お母さんと夜ご飯を食べて、布団で眠りにつく。『女生徒』では、80年前を生きた14歳の女の子の1日が、日記のように綴られています。成長することの不安感、鏡に映る自分の顔に対する絶望感、大人たちへの嫌悪感。誰もが一度は感じたことのある思春期の心の揺れ動きを、女の子目線の瑞々しい文体で描きます。女性なら共感できること間違いなしの、かつて女生徒だったあなたに読んでほしい一冊です。

文豪の作品とイラストレーターの描きおろしイラストが楽しめる、人気シリーズ「乙女の本棚」の第1弾となる本書。物語を彩るシックで可愛い挿絵にも注目です。



(ひさの)



人間科学部 現代子ども教育学科

三宅英典 先生



1. 休日は何をして過ごしていますか？

子どもが小さいので大体子どもと遊んでいます。一緒にお散歩をしたり、近所のお店にお出かけしたり、たまに遠いところまで連れて行ったり、そんな形で一緒に過ごすことが多いですね。あとは趣味として家庭菜園をしていて、トマトやピーマン、ナス、モロヘイヤ、他にも…スイカとかメロンを空中栽培で育てたりすることもあります。

2. 学内でお気に入りの場所はどこですか？

E1 棟と N3 棟の間にある聖書の庭、広場の前のベンチがお気に入りです。暖かくなってきた春頃にちょっと座って休憩するのが好きです。オシャレでいいなと思うのは、E1 棟 2 階のソファーとか 3 階のロビーです。あとは、N2 棟に現代子ども教育学科の部屋があるんですが、保育室とか小学校の教室をミニチュア化したような感じで、なんか楽しい場所です。幼稚園とか小・中学校の先生になりたい人たちが、模擬保育や模擬授業をするときに使ったりしています。

3. 学生時代の思い出教えてください。

吹奏楽（楽器はパーカッション）の部活動に入っていて、合宿では演奏会の準備をしたり、新入生をびっくりさせるような肝試しを企画したりしました。そこでできた同期の人たちと一緒に旅行に行ったのも楽しい思い出です。あとは、いろんなバイトをしていたのも、思い出と言えば思い出になるのかな。

家庭教師、マックのクルー、コンビニ、焼肉屋、パチンコ屋さんのホールスタッフ、寝具（ベッド）の販売員、その他…、新しいことを知るのが好きなのでいろんなことをやって、ある程度できるようになると違うバイトをする、そうやってたくさんの仕事を経験しました。

4. 座右の銘（または大切にしていること）は何ですか？

大切にしている言葉は中学校の校長先生がよく言っていた「できるかできないかではなく、やるかやらないかだ」です。「できるかなあ、どうしよう」って思うことはいろいろあるけど、その都度これを考える。

これは自分の性にも合っていると感じています。

四字熟語だと「日進月歩」でしょうか。

「なるようになる、何とかなる」ということも。

自身の研究では様々な方から意見を貰います。

否定的な意見を貰うことを恐れずに挑戦しています。



5. 尊敬する人物や偉人を教えてください

一人は大学の恩師です。発達心理学で子どもに関する研究をしている先生で、子どもに対して貫いている姿勢や子どもを捉えようとする視点が好きです。子どもを見るマインドはその先生をすごく尊敬していて、同じような見方ができたらいいなあと思っています。

もう一人は大学院の恩師です。研究者としてのマインドを全て指導してもらいました。指導を受ければ受けるほどその先生の凄さがわかりました。研究者としての自分の仕事で、大事にしたいことやこんな時どう考えるのかといったことは、その先生が全てモデルになっています。

6. 大学の先生になったきっかけは何ですか？

大学の先生の影響です。元々、短大の保育学科に通っていて、授業の教材でその先生のことを知って、興味を持ち4年制の大学に編入しました。先生のようになりたいと思い大学院へ進学し、そこでまた良い指導教員に巡り合い、ここまで来ることができました。

7. 好きな本または学生におすすめの本は何ですか？

最近読んでおもしろいなと思ったのは『言語の本質』です。言葉の発達に大事な要素のオノマトペは世界中にあるけれど国・文化によって特徴が違うのはなぜ？オノマトペって何？どうしてその言葉を使うの？そもそも子どもって何？といったところにぶち当たっていくのが面白くて読みやすいです。

子どもの言い間違いを集めた『きょう、ゴリラをうえたよ』という本は面白いだけでなく、言語のカテゴリーの発達として見るととても興味深いです。

実際に保育現場で起こった面白おかしい話を漫画にした『保育士でこ先生』も面白いです。また、自身をコントロールするのに重要な実行機能について研究している森口佑介さんが書いた『自分をコントロールする力』もおすすめです。



8. 金城生にメッセージをお願いします！

「大学生は時間を自由に使えるからやりたいことをやったらしいよ」って言うのがメッセージです。何かをやらなきゃいけないってわけじゃなくて、何をやってもいい、自分のやりたいことに打ち込める時間は、4年制大学だからこそある環境だと思います。その時間で自分の興味・関心を広げたり、やりたいことをどんどんやったりと、それを突き詰めてみる。それって自分の財産になると思うので、ぜひ周りに流されずいろんな経験をしてください。夢中になるという時間を大切にしてもらつたらいいと思います。

🍒 インタビューを終えて

先生がたくさんお話ししてくださいり、とても興味深く、もっとお話を伺いたいと思いました。時間が足りないと感じるほど充実していて、ここには書ききれないほど多くのことを学ばせていただきました。 (おとね)

先生のお話はすごく面白く、特に学生時代にされてきたことを聞き、いろんなことに挑戦していると、こんな経験や知識を得ることができるのが驚かされました。先生の経験や知識、大切にしている言葉を聞いて私ももっといろんなことに挑戦していきたいと思いました。先生にインタビューをすることができてよかったです！ (あやか)

～ 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵）～

『言語の本質』 請求記号 : 801/I433/2

『きょう、ゴリラをうえたよ』 請求記号 : 810.4/Mi96

『ただいま！保育士でこ先生』 請求記号 : 726.1/D545

『自分をコントロールする力』 請求記号 : 141/Mo48

